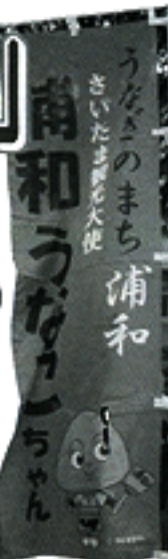


# 第10回「さいたま市浦和うなぎまつり」 2万5000人が来場



## 県外からの鰻関連 出展ブースも大いに賑わう

5月28日/於…さいたま市役所

さいたま市浦和うなぎまつり実行委員会主催(事務局浦和区総務課地域商工室)で、今年一〇回目を迎える「さいたま市浦和うなぎまつり」が先月28日、さいたま市役所で催された。当日はあいにくの雨に見舞われるも、メインのうなぎ弁当を求める行列も見られ、最終的に約二万五〇〇〇人の来場者を数えた。今年、静岡県より浜名湖養魚漁業協同組合、浜名商工会のメンバー、老舗卸問屋の海老仙、三島うなぎ横町



清水 勇人 市長 (さいたま市)



メンバー、また長野県からはうなぎのまち岡谷の会が参戦、うなぎまつりを盛り上げた。「あいにくの雨もウナギ弁当を求める多くの来場者」会場内は、美味しそうなウナギ蒲焼の香ばしさが漂う中、ステージでは清水勇人市長が挨拶、東日本大震災に見舞われた被災地への方々へお見舞いを述べた後、一本日はあいにくの天候のため、食欲をそそるウナギ蒲焼の香りが漂う会場では、イベントの目玉となるうなぎ弁当が浦和のうなぎを育てる会(金子孝道会長)メ

「五尾原料・アミ串一五〇〇円」一〇〇〇串が用意され、あいにくの雨ながらも多くの行列が出来、活気をさせていた。他にもウナギ関連団体として浜名湖養魚漁業協同組合ブースでは内山光治新組合長自身もPR、「うなぎねぎま」二〇〇円を販売、また浜名商工会では11月6日に開催、うなぎ長巻ずし五〇mの挑戦、うなぎつかみ取りイベント満載の「第一一回うなぎまつり」も、あいに



あいにく雨模様も、うなぎ弁当を求めて多くの来場者が行列を作った。静岡(浜松、三島)、長野(岡谷)など県外からのブースも精力的にPR。

「今後は、うなぎサミットも同時開催出来れば」(浦和のうなぎを育てる会・大森好晴社長「中村家」)

浦和のうなぎを育てる会の大森好晴社長(中村家)は「あいにく雨は残念だったが、今後も私共の会、そして三島、浜松、岡谷の皆様方と手をとりあううなぎまつりをさらに盛り上げていければと思う。うなぎで街おこし」という共通目的の中で、改めて各団体が寄り集まり、うなぎサミットも同時開催出来ればと思う。またウナギの大産地の一つである三河でも「三河うなぎまつり」が

「うなぎまつり」を鈴木克明会長、宮崎由成副会長らと共に積極的にアピール、また、

「加茂仙一郎社長」と呼びかけるなど、バラエティに富んだウナギ商品が多数販売される中、多くの人が詰

「浜松の卵」配合飼料で生まれた卵 コレステロール 20%off

